

日本農業技術検定への 協賛企業・団体への参加のご案内

日本農業技術検定への協賛企業・団体への参加をどうしてお願いするのか

農業生産を支える農業法人や農業関連企業が日本農業を応援しているという姿を示したいのでこの取組みを薦めています。

協賛金は不要で、ご理解をいただければ受験案内や検定ホームページに協賛企業・団体名を掲載させていただきます。申請書類は当検定HPに掲載してあります。

日本農業技術検定とは

日本農業技術検定は、我が国の農業現場への新規就農のほか、農業法人や関連企業等への就業を目指す学生や社会人などを対象に、農業知識や技術の修得水準を客観的に把握し、教育研修の効果を高めることを目的として2007年度から実施している検定試験です。

農学系教育機関などで学んだ農業に関する実践的知識の理解状況を客観的に評価する農業専門の全国統一の試験制度です。現在、農林水産省・文部科学省の後援をいただいています。

日本農業技術検定は、これからの農業を担う人材の育成・確保に欠かせない検定として関係機関から注目され、入試で優遇する農業大学校や農学系大学が出てきただけでなく、優先採用する農業法人もあるなど受験メリットも拡大しています。検定受験者は年々増加し、平成30年度には約27,000人がチャレンジしました。

日本農業技術検定の概要

日本農業技術検定協会

等級	1級	2級	3級
想定レベル	農業の高度な知識・技術を習得している実践レベル	農作物の栽培管理等が可能な基本レベル	農作業の意味が理解できる入門レベル
試験方法	学科試験+実技試験	学科試験+実技試験	学科試験のみ
学科受検資格	特になし	特になし	特になし
学科試験出題範囲	共通:農業一般 + 選択:作物、野菜、花き、果樹、畜産、食品から1科目選択	共通:農業一般 + 選択:作物、野菜、花き、果樹、畜産、食品から1科目選択	共通:農業基礎 + 選択:栽培系、畜産系、食品系、環境系から1科目選択
学科試験問題数	学科60問 (共通20問、選択40問)	学科50問 (共通10問、選択40問)	50問 (共通30問、選択20問)
学科試験回答方式	マークシート方式 (5者択一)	マークシート方式 (5者択一)	マークシート方式 (4者択一)
学科試験試験時間	90分	60分	40分
学科試験合格基準	120点満点中 70%以上	100点満点中 70%以上	100点満点中 60%以上
実技試験受検資格	受験資格・免除制度あり ^{*1}	受験資格・免除制度あり ^{*2}	実技試験なし(不要)

※ 1：1級の学科試験合格者。2年間以上の就農経験を有する者又は、検定協会が定める事項に適合する者（JA 営農指導員、普及指導員、大学等付属農場の技術職員、農学系大学生（農業高校・農業大学校を含む）で農場実習等4単位以上を取得している場合）は実技試験免除制度あり。

※ 2：2級の学科試験合格者で1年以上の就農経験を有する者。農業高校・農業大学校など2級実技水準に相当する内容を授業などで受講した者、JA 営農指導員、普及指導員、大学等付属農場の技術職員、学校等が主催する任意の講習会を受講した者は2級実技の免除規定が適用される。

日本農業技術検定協会とは

一般社団法人全国農業会議所は、試験の円滑な実施を図るため、試験実施主体として、全国段階の農業(教育)関係機関・団体等で構成する「日本農業技術検定協会」を設置しています。

協会は以下の農業教育に関係する全国農業団体14団体等で構成されています。

全国農業協同組合中央会・全国町村会・全国農業高等学校長協会・全国農業大学校協議会・全国農学系学部長会議・全国大学附属農場協議会・公益社団法人日本農業法人協会・一般社団法人全国農業改良普及支援協会・公益財団法人農民教育協会・公益社団法人国際農業者交流協会・一般社団法人日本農業機械化協会・一般社団法人全国農協観光協会・一般社団法人農山漁村文化協会・一般社団法人全国農業会議所



いまどうして農業界の人材育成が必要なのか

我が国の農業を支える経営体は毎年大幅に減少し、2017年には5年間で約2割減って125万経営体となりました。また、販売農家のうち基幹的農業従事者(農業就業人口のうちふだんの仕事が農業)も同期間に15%減少して150万人となり70歳以上層が4割となりました。一方、新規就農者は2017年には5万人余となりましたが49歳未満は3割しかいません。

また、現在の農業は労働力不足に加えて国際化が進み、付加価値の高い農産物やAI技術の活用など高度な知識が求められており、このためには、以下の取り組みが必須で、そのための育成手段としての試験制度が大きな役割を果たします。



- 優秀な人材育成が必要
- 農業の基礎知識修得は農業参入の前提

平成31年度検定日程

【第1回】2019年 7月13日(土)

受 検
申 込 み

2019年 4月26日(金)～ 6月3日(月)

【第2回】2019年12月14日(土)

2019年10月 1日(火)～11月5日(火)

受験実績 (2013～2018年度)

●日本農業技術検定の受験実績

①全体受験実績(2013～2018年度)

(受験者数(人)
合格率(%))

	3級	2級	1級	合計
2013年度	18,405人 (62%)	3,859人 (22%)	293人 (5%)	22,557人 (54%)
2014年度	18,411人 (67%)	4,104人 (23%)	258人 (9%)	22,773人 (59%)
2015年度	18,926人 (68%)	4,949人 (21%)	245人 (10%)	24,120人 (58%)
2016年度	20,183人 (62%)	5,350人 (19%)	308人 (8%)	25,841人 (53%)
2017年度	20,681人 (56%)	5,743人 (18%)	277人 (6%)	26,701人 (47%)
2018年度	20,521人 (62%)	5,365人 (20%)	247人 (9%)	26,133人 (53%)

②科目別合格率(2016～2018年度)



③合格基準

- 3級** 100点満点の原則60%以上
- 2級** 100点満点の原則70%以上
- 1級** 120点満点の原則70%以上



日本農業技術検定成績優秀団体（2018年度）

3級

1.農業高等学校 7団体

最優秀団体：東京都立農産高等学校

優秀団体：北海道旭川農業高等学校、筑波大学附属坂戸高等学校、東京都立園芸高等学校、静岡県立小笠高等学校、長野県上伊那農業高等学校、徳島県立吉野川高等学校

2級

1.農業高等学校 3団体

最優秀団体：静岡県立静岡農業高等学校

優秀校：神奈川県立中央農業高等学校、神奈川県立相原高等学校

2級

2.農業大学校 6団体

最優秀団体：アグリノベーション大学 関東校

優秀団体：埼玉県農業大学校、神奈川県立かながわ農業アカデミー、タキイ研究農場付属園芸専門学校、アグリノベーション大学校 関西校、広島県立農業技術大学校

3.大学等 11団体

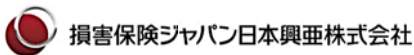
最優秀団体：佐賀大学、JAハイナン

優秀団体：東京農業大学、名城大学、南九州大学、宮崎大学、JA東京中央、JA御殿場、JA福岡県中央会、JAみい、JAくま

協賛企業・団体の参加状況

(2019年4月現在)

私達も未来の日本農業を担う人材の育成を応援しています！



Eat Well, Live Well.



日本農業技術検定に関するお問い合わせ

日本農業技術検定協会（事務局：一般社団法人 全国農業会議所）

〒102-0084 東京都千代田区二番町9-8

TEL：03-6910-1126 FAX：03-3261-5131 e-mail：kentei@nca.or.jp

担当：五十嵐・今井

<https://www.nca.or.jp/support/general/kentei/>